

FD・SD共通

8月25日(木)15:30～17:30／南加記念ホール

シンポジウム「高等教育機関におけるマネジメント -危機管理と情報開示の意義-

■講師



諸星 裕
(桜美林大学大学院教授)

桜美林大学大学院教授・ミネソタ州立大学特別功労教授。1969年にICUを卒業後渡米し、71年私立ブリガムヤング大学大学院修士課程修了。76年州立ユタ大学大学院博士課程を修了(学術博士)。米ミネソタ州の州立大で教授、学部長代行、秋田校学長を経て、98年に桜美林大学に教学担当副学長として招聘され、現在に至る。米国で大学評価委員をした経験も持つ。



池田 輝政
(名城大学教授)

九州大学大学院教育学研究科博士課程満期退学。同大学助手、大学入試センター研究開発部助手、助教授、教授、放送教育開発センター研究開発部教授、メディア教育開発センター研究開発部教授、名古屋大学高等教育研究センター教授、名城大学大学院研究科長、大学教育開発センター長、副学長・理事を経て、現在は人間学部教授及び大学学校づくり研究科教授。専門は高等教育経営、教育行政。国立大学協会大学評価専門委員ほかを歴任。



石橋 晶
(文部科学省高等教育局大学振興課 課長補佐)

東京大学法学部卒。2000年に文部省(現文部科学省)に入省。文化庁初等中等教育局初等中等教育企画課専門官、科学技術・学術政策局基盤政策課専門官、高等局大学振興課大学改革推進室大学院振興専門官を経て、現在に至る。

■プログラム概要

高等教育機関を取り巻く環境の変化や東日本大震災により、高等教育機関は大きなダメージを受け、それとともに学長・理事長をはじめとしたリーダーのマネジメント能力が強く問われている。また、「象牙の塔」と称されてきた、大学をはじめとした高等教育機関も時代の波に押し流され、学校教育法施行規則等の一部改正に伴い、本年度より教育情報の公表も義務化された。すなわち、「開かれた大学(学校)」として社会との関わりを積極的に持つとともに、学内の情報を一般に公開することが強く求められる時代となったと言える。

本シンポジウムでは、「高等教育機関におけるマネジメント-危機管理と情報開示の意義-」と題し、大学経営者(学長・校長・理事等)やミドルリーダー(学部長・部課長等)に求められるマネジメント能力を危機管理や情報公開の側面から諸星裕氏、石橋晶氏にご講演いただき、コメンテーター・コーディネーターを池田輝政氏にお願いする。

後半部分では、テーマに沿ったフロアからの質疑応答を受け、危機管理や情報公開について、参加者個々が新たな視点を持つことができるようなプログラムとなっている。